

令和2年度畜産経営診断指導事業

# 令和2年度畜産経営指導実施結果

令和3年3月

公益社団法人 新潟県畜産協会

# 目 次

○ 実施状況の概要	1
○ 指導対象経営の概要	2
○ 畜種別指導実施結果の概要	3
○ 参考資料	11

## 1 実施状況の概要

「令和2年度畜産コンサルタント指導員名簿」(後掲)に記載した当協会役職員4名と当協会が依頼した畜産関係団体職員等14名に加え、新潟県農林水産部経営普及課及び県試験研究機関に所属する職員で指導班を編成し、現地の県地域機関(地域振興局、家畜保健衛生所)職員の参画により調査・分析及び対策の検討を実施した。

### ○ 指導対象

主に就農して間もない後継者を対象に総合指導及びワンポイント指導を実施

#### ア 総合指導

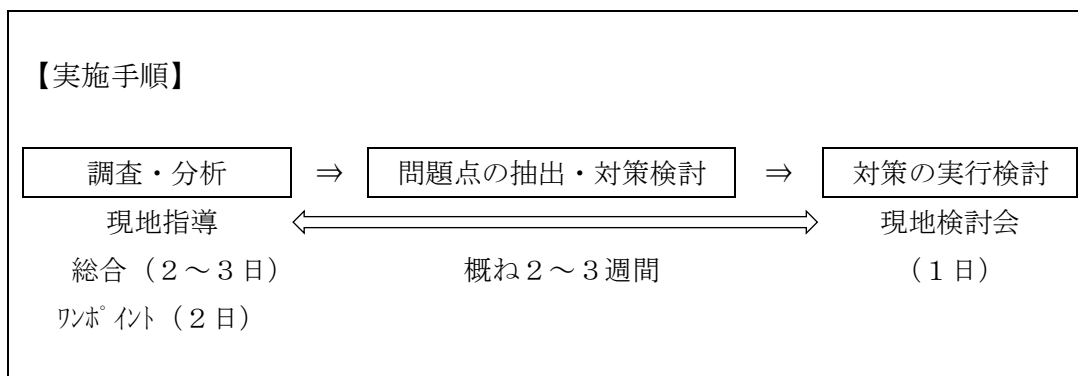
各経営の課題(技術改善、衛生対策、財務改善等)ごとに、複数の畜産コンサルタント指導員がそれぞれの専門に応じて総合的な指導を実施

#### イ ワンポイント指導

経営の実態や課題に応じて、指導分野を限定して重点的に指導を実施

### ○ 指導方法

- ・ 総合指導は、経営全体を把握するための調査・分析に十分な時間(通常3日間)をかけ、概ね2～3週間後に経営者と共に実行可能な対策を決定  
なお、平成30年度から、調査・分析を2日間に短縮して指導の効率化を図ることを目的として、飼養状況表の作成及びデータの入力作業が自身で可能な経営者を対象に「スピードコンサル」を実施(事前の資料作成・一部データ入力を経営者本人が担当 ⇒ 現地指導日約2週間前までに協会職員による事前チェック ⇒ 現地指導)
- ・ ワンポイント指導は、特定課題を把握するための調査・分析を通常2日間で実施し、概ね2～3週間後に経営者と共に実行可能な対策を決定  
なお、平成30年度から、ワンポイント指導に限り、経営者自らが診断できるようデータ入力方法等を指導する「自己診断指導」を実施



○ 指導実施戸数

(単位:戸)

区 分		酪 農	肉用牛	養 豚	合 計
総合指導	通常指導	5	6	2	13
	スポットコンサル	-	1	4	5
ワンポイント指導	通常指導	3	2	-	5
	自己診断指導	1	-	-	1
合 計		9	9	6	24

2 指導対象経営の概要

(1) 経営形態

令和2年度に指導を実施した24戸の後継者就農、飼料用米利用、自給粗飼料生産の状況は下表のとおりであった。

後継者就農の割合は、酪農家が4割であったのに対し、肉用牛経営では7割を超えて、養豚経営では全戸が就農していた。

飼料用米利用は20.8%であり、各畜種とも利用割合が低い傾向がみられた。

自給粗飼料生産(稲わら含む)は、酪農経営では6割を超える6戸で取り組み、肉用牛経営の繁殖経営は全戸、肥育経営は8割が取り組んでいた。

なお、主要な診断実績数値を新潟県畜産経営指導指標値(平成26年度改訂)と対比して「参考資料」として11ページ以降に掲載した。

○ 指導対象経営の経営形態

(戸、%)

区 分	酪農経営	肉用牛経営		養豚経営	合 計
		繁殖経営	肥育経営		
指 導 実 施 戸 数	9	4	5	6	24
後継者就農戸数	4	3	4	6	17 (70.8)
飼料用米利用戸数	3	0	1	1	5 (20.8)
自給粗飼料生産戸数	6	4	4		14 (77.8)

(注)自給粗飼料生産戸数の合計は酪農経営、肉用牛経営戸数に対する比率で示した。

### 3 畜種別指導実施結果の概要

令和2年度は、乳価についてはほぼ前年並みで堅調に推移しており、豚肉については令和元年度よりも高値で推移する傾向にあった。また、牛枝肉価格については、10月頃まで前年同月比を下回ったものの、以降は上回って推移している。ただし、肉用牛経営の所得率を見ると、県指標値を達成している割合が半数を超えているものの、前年度から継続して受診している経営においては、前年の所得率を下回ったものが多い。

調査・分析の結果に基づき問題点を整理すると、技術レベルに課題がある経営が多いことから、各事例の技術、経営レベルを判断するために新潟県畜産経営指導指標と比較した。

各指標値の達成度は以下のとおりであり、今後、改善が必要な課題項目を明確化した。

なお、技術管理指標は総合指導とワンポイント指導を実施した全事例、経営管理指標は総合指導を実施した事例を記載した。

#### (1) 酪農経営（総合指導5戸、ワンポイント指導4戸）

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)					
				~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~	
技術管理	経産牛平均種付回数	回	2.0以内	11.1	●●●●●●●●●●	●	●		●
	経産牛平均分娩間隔	ヶ月	14.0以内	22.2		●●	●●●●●●●●	●●	
	経産牛平均産歴	回	3.5以上	0	●●●●●●●●●●	●●			
	経産牛1頭当り産乳量	kg	9,500以上	11.1		●●●●	●●●●●●●●	●	
	体細胞数	千個	160以下	22.2	●●●●●●●●●●				●●
	乳飼比	%	50以下	57.1	●●		●	●	●●●●
経営管理	所得率	%	15以上	60.0	●●				●●●●
	経産牛1頭当り飼養管理時間	時間	120以下	0	●●●●●●●●				

※乳飼比については7事例を記載した。(2事例について繁殖部門のみの取りまとめであったため)

※経営管理は総合指導を受診した5事例を記載した。

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
経産牛平均種付回数	2.0回以内	1	分娩後の初回授精による受胎率が20%程度と低迷し、2回目以降の受胎率が低いことが原因である。 発情観察の強化による適期授精のほか、飼料中の粗濃比の見直しによる粗飼料給与量の増量、繁殖障害牛に対する早期治療が重要である。

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
経産牛平均分娩間隔	14ヶ月以内	2	<p>初回授精受胎率について平均 27.6%と低迷していることが主な要因である。</p> <p>分娩後の子宮回復の遅れを防ぐため、泌乳後期から乾乳期にかけての飼養管理の強化と、暑熱対策を始めとした飼養環境の改善、繁殖障害牛に対する早期治療を行うとともに、適期授精の徹底が重要である。</p>
経産牛平均産歴	3.5産以上	0	<p>9戸中5戸で経産牛事故率が10%を超えており、経産牛平均産歴が向上しない主な要因となっている。定期的な検診の実施による疾病の早期発見と治療、分娩前後の移行期における飼養管理の強化を図ることが重要である。</p>
経産牛1頭当り産乳量	9,500 kg以上	1戸	<p>乳房炎の発生、分娩後事故と分娩間隔伸長による牛群の搾乳日数の伸長、暑熱ストレスによる1頭当たり乳量の減少が乳量低迷の主な原因である。</p> <p>日常管理の強化による乳房炎発生の防止・発情発見率の向上による分娩間隔の短縮と、死廃事故発生の防止によって経産牛平均産歴3.5産以上の牛群を整備することが重要である。</p>
体細胞数	160千個以下	2戸	<p>乳房炎の発生が原因である。</p> <p>日常搾乳時のプレ、ポストディッピング等搾乳衛生対策の実行による発生の防止、分房ごとの定期的な乳房炎検査の継続、乳房炎牛に対する有効薬剤による搾乳・乾乳時の治療、清潔な飼養環境の整備による環境性乳房炎発生の防止が重要である。</p>

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
乳 飼 比	50%以下	4戸	<p>自給飼料を生産していない又は収量が低い経営や、経産牛1頭当り産乳量が7,000kg台と低い経営は乳飼比が高い傾向にある。</p> <p>経産牛1頭当たり乳量向上による生乳販売代金の増加と、自給飼料の収量向上、食糧残さなど安価な飼料の模索、個体別の適正給与の徹底による飼料費の削減を図ることが重要である。</p>
所 得 率	15%以上	3戸	<p>指標値を達成できなかった2戸はそれぞれ分娩直後の事故多発と昨期受胎率の低迷により平均搾乳日数が伸長したことで出荷乳量が落ち込んだことが原因であり、乾乳・分娩直後に係る飼養管理の見直しと、授精師による適期授精の徹底が重要である。</p>
経産牛1頭当り 飼養管理時間	120時間以下	0	<p>後継者の就農により、労働力が増加したが、飼養規模を拡大できないことが大きな原因である。</p> <p>安定的な後継牛の確保・事故牛発生防止による計画的な規模の拡大と、飼養管理の強化によって、労働時間に見合う所得を確保することが必要である。</p>

(2) 肉用牛繁殖経営（総合指導3戸、ワンポイント指導1戸）

指標項目		単位	指標値等	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)				
					～80%	80～90%	90～100%	100～110%	110%～
技術管理	平均産歴	産	7.0以上	0	●●●	●			
	平均分娩間隔	ヶ月	12.0以下	25.0		●	●●	●	
	受胎に要する種付回数	回	1.5以下	25.0	●	●	●	●	
	子牛事故率	%	3.0以下	0	●●●	●			
経営管理	所得率	%	30.0以上	66.7		●		●	●
	減価償却費対売上高比率	%	15.0以下	33.3	●	●		●	

※雌子牛販売時体重は、雌子牛販売のない1戸を除く3戸について記載した。

※所得率については、総合指導を実施した3戸について記載した。

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
平均産歴	7.0産以上	0	指標値を達成した事例はなかった。 主な要因は繁殖牛の増頭や産歴が進んだ牛の更新を行ったことであるが、長期連産を図るため、飼養管理の徹底等、高度な繁殖技術が求められる。
平均分娩間隔	12.0か月以下	1戸	指標値を達成した事例は1戸のみであり、また、指標値から2か月程度延長している事例が1戸あった。 観察強化による適期授精の他、育成牛の肥満防止や繁殖牛の分娩前後の適切な増飼い等、飼養管理の改善により短縮を図る必要がある。
受胎に要する種付回数	1.5回以下	1戸	指標値を達成した事例は1戸のみであった。 観察強化による適期授精の他、繁殖牛の飼養管理改善により、正常な発情の誘起や受胎率を高める必要がある。



課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
子牛事故率	3.0%以下	0戸	指標値を達成した事例はなかった。子牛の飼養管理改善や観察強化による異常の早期発見・対処に努めるとともに、虚弱な子牛とならないよう分娩前後における母牛の飼養管理の見直しや、分娩事故の防止対策が必要である。
減価償却費対売上高比率	15.0%以下	1戸	指標値を達成した事例は1戸のみであった。達成しなかった事例の中には、40%を超えているものもあり、規模拡大に伴う投資が主な要因ではあるが、今後、計画的な投資や各種事業の活用による自己負担の軽減といった対策が必要である。

### (3) 肉用牛肥育経営（総合指導4戸、ワンポイント指導1戸）

指標項目	単位	指標値	達成事例 割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)					
				~80%	80~90%	90~ 100%	100~ 110%	110%~	
技術管理	出荷月齢	ヶ月	28.0 以内	0			●●●●● ●		
	枝肉重量	kg	490以上	100				●●●●●	●
	1日当たり増体重	kg	0.85 以上	60.0			●●	●●	●
	枝肉格付4等級以上率	%	80.0 以上	100					●●●●● ●
	事故率	%	2.0以下	60.0	●●			●●●	
経営管理	所得率	%	6.0以上	75.0	●			●●●	

※各項目については去勢牛の実績のみを記載した。

※所得率については、総合指導を実施した4戸について記載した。

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
出荷月齢	28ヶ月以内	0	<p>指標値を達成した事例はなかった。</p> <p>コスト低減を図るためにも、導入後の飼直し期間の飼養管理改善や肥育前期における飼料増給、衛生管理の徹底による疾病発生の防止等により増体量の向上を図ることで出荷月齢を早める必要がある。特に自家産子牛を肥育する場合は、飼直し期間がない分、より短縮に努める。</p>
1日当り増体量	0.85kg以上	3戸	<p>指標値を達成した事例は3戸あり、また、達成しなかった事例のうち1戸は0.80kgを下回っていた。</p> <p>育成期・肥育前期の飼料給与体系の見直しや、衛生管理の徹底の他、群飼において個体間で採食量の偏りが生じないような取組等、給餌方法や牛舎環境の整備といった対策も必要である。</p>
事故率	2.0%以下	3戸	<p>事故の発生がなかった事例が3戸あった反面、指標値を達成しなかった事例が2戸あった。</p> <p>日常観察の徹底による異常の早期発見及び対策の早期実行が必要である。</p>

(4) 養豚経営 (総合指導6戸)

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)					
				~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~	
技術管理	1 腹 当 り 分 娩 頭 数	頭	12.0 以上	83.3			●	●●	●●●
	1 腹 当 り 離 乳 頭 数	頭	9.9 以上	66.7			●●	●●●	●
	離 乳 時 育 成 率	%	90 以上	33.3		●	●●●	●●	
	離 乳 ~ 受 胎 平 均 日 数	日	12 以 内	0	●●●●	●●			
	分 娩 間 隔	日	150 以 内	0			●●●● ●●		
	年 間 換 算 離 乳 子 豚 頭 数	頭	24 以 上	66.7			●●	●●●	●
	肉 豚 1 日 当 り 増 体 量	g	670 以 上	33.3			●●●●	●	●
	肉 豚 期 間 平 均 事 故 率	%	5 以 下	16.7	●●●●	●			●
	種 雌 豚 1 頭 当 り 肉 豚 出 荷 頭 数	頭	22.8 以 上	50.0	●	●	●	●●	●
経営管理	自 己 資 本 比 率	%	50 以 上	33.3	●●●		●		●●
	所 得 率	%	10 以 上	100					●●●● ●●

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
離 乳 時 育 成 率	90%以上	2戸	<p>指標値を達成した事例は2戸のみであった。</p> <p>育成率が低い事例では、母豚及び子豚の栄養管理（適正な飼料給与）を徹底する必要があるほか、分娩豚舎の適正温度の設定や保温箱の確実な利用などを図る必要がある。</p>
離 乳 ~ 受 胎 平 均 日 数	150日以内	0	<p>最も改善の遅れている技術項目のひとつであり、指標値を達成した事例はなかった。</p> <p>離乳後の発情再起の遅れが主要因であり、授乳期の母豚が栄養不足にならないよう管理する必要がある。</p> <p>特に長期化が目立つ事例では、母豚の管理観察強化、母豚更新時期の判断など基本的事項の徹底を図る必要がある。</p>

課 題 項 目	指標値	指 標 値 達成戸数	課題と対策
分 娩 間 隔	150 日 以内	0 戸	前述の「離乳～受胎平均日数」を短縮することに加え、授乳子豚の栄養管理・飼養管理を適切に実施して健康的に仕上げ、平均哺乳日数の短縮を図る。
肉 豚 1 日 当 り 増 体 量	670g 以上	2 戸	増体量の低い経営では、密飼にならないよう適正な肥育スペースの確保と飼料給与量の調整が必要である。
肉 豚 期 間 平 均 事 故 率	5%以下	1 戸	指標値を達成した事例は1戸のみであった。 事故率が高い事例では、疾病の原因特定と治療のほか、老朽化した豚舎の衛生状況改善、豚舎の換気や水洗・消毒の強化、ワクチンプログラムの見直しが必要である。 また、離乳時の発育遅れが多発していたため、授乳中の栄養管理から見直すことも重要となる。
自 己 資 本 比 率	50%以上	2 戸	指標を達成していない事例の主な理由は、過去の畜舎新築に係る長期資金の借り入れであった。 所得率については、好調な豚枝肉相場も手伝い、全戸で指標値を大きく上回った。

# 参 考 资 料

酪農経営 1

区 分				指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号				
							1	2	3	4	5
診 断 期 間							R1.8.1 ~R2.7.31	R1.8.1 ~R2.7.31	R1.10.1 ~R2.9.30	R2.1.1 ~12.31	R2.1.1 ~12.31
規 模	飼 料 畑	a		1,000	687	823	-	800	1,000	687	
	經 産 牛 頭			33.7	21.0	29.5	26.8	28.8	33.7	21.0	
乳 牛	經 産 牛 平 均 産 歴	産	3.5以上	2.9	2.1	2.3	2.1	2.3	2.9	2.1	
	經 産 牛 平 均 分 娩 間 隔	月	14.0以内	17.0	13.6	13.6	14.4	14.5	15.5	17.0	
	經 産 牛 平 均 種 付 回 数	回	2.0以内	3.9	1.8	2.0	2.8	3.9	1.8	2.8	
	經 産 牛 処 分 率	%		63.4	14.8	30.5	63.4	34.7	14.8	57.1	
技 術 管 理 成 績	搾 乳 牛 1 頭 当 り 産 乳 量	kg		11,249	8,508	11,249	8,508	9,581	10,187	8,718	
	經 産 牛 1 頭 当 り 産 乳 量	kg	9,500以上	10,214	7,809	10,214	7,809	8,574	8,996	7,853	
	濃 厚 飼 料 1kg 当 り 産 乳 量	kg		2.35	1.73	1.73	1.82	2.35	2.30	1.99	
	脂 肪 率	%	3.8以上	3.99	3.74	3.74	3.90	3.90	3.87	3.99	
	無 脂 固 形 分 率	%	8.8以上	8.99	8.61	8.61	8.90	8.99	8.86	8.78	
	体 細 胞 数	千個	160以下	344	202	271	299	282	202	344	
飼 料 給 与	經 産 牛 1 頭 当 り 濃 厚 飼 料 給 与 量	kg	3,600	5,608	3,653	5,608	4,301	3,653	3,922	3,943	
	經 産 牛 1 頭 当 り 粗 飼 料 給 与 量	kg	5,220	4,807	3,758	3,758	4,751	4,017	4,807	4,598	
	給 与 養 分 率	C P	%	128.4	102.8	128.4	128.4	117.9	120.7	102.8	
		T D N	%	114.0	103.6	109.5	114.0	108.6	106.0	103.6	
	体 重 対 する 給 与 割 合	全 給 与	%		4.0	3.2	4.0	3.6	3.2	3.7	3.6
粗 飼 料		%		2.0	1.6	1.6	1.9	1.7	2.0	1.9	

酪農経営2

区 分			指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号					
						1	2	3	4	5	
技 術 管 理 成 績	飼 料	経産牛1頭当り作付実面積	a	54.5	27.9	27.9	-	54.5	29.7	37.5	
		T D N 自給率	%	24.9	10.9	14.4	-	24.9	10.9	20.6	
	生 産	10 a 当り収量	青刈作物	kg	4,904	950	-	-	4,904	1,804	950
			永年牧草	kg	5,000以上	1,131	1,093	-	1,131	-	-
	成 績	1kg 当り生産費	生 草	円	-	-	-	-	-	-	-
			埋 草	円	36.90	9.50	28.80	-	21.91	9.50	36.90
			乾 草	円	-	-	-	-	-	-	-
	労 働	経産牛1頭当り飼養管理時間	時間	120.0	383.1	163.9	383.1	163.9	209.1	238.9	195.2
		10 a 当り飼料栽培時間	時間	8.0	18.5	1.6	18.5	-	-	-	1.6
	経 営	出 荷	生乳1kg 当り販売単価	円	135.09	132.68	133.69	133.69	135.09	132.68	132.78
生 産 原 価			生乳1kg 当り	生産原価	円	161.74	133.74	148.08	161.74	138.37	133.74
			総原価	円	179.47	145.66	167.41	179.47	157.48	145.66	149.34
		自家労賃控除後	総原価	円	134.70	101.77	101.77	134.70	118.44	103.22	109.57
管 理 成 績	所 得	経産牛1頭当り所得	円	309,794	▲ 7,853	309,794	▲ 7,853	133,125	262,209	216,622	
		1日当り所得	円	24,970	▲ 577	24,970	▲ 577	10,475	24,143	12,429	
		労働1時間当り所得	円	1,110	▲ 48	809	▲ 48	637	1,098	1,110	
		経産牛1頭当り所得 (子牛販売収入控除)	円	177,322	▲ 144,421	115,623	▲ 144,421	61,464	177,322	58,648	
		所得率	%	15以上	20.7	▲ 0.7	20.7	▲ 0.7	10.6	20.0	17.3
全 性	安	乳 飼 比	%	50以下	68.0	40.1	44.3	68.0	40.1	46.1	44.0
		うち経産牛当りの乳飼比	%	45以下	60.1	38.9	41.2	60.1	38.9	43.9	43.3
	全 性	自給飼料費加算乳飼比	%		60.0	46.3	46.3	-	49.6	51.1	60.0
		支払利息対売上高比率	%	2以下	1.8	0	0.2	1.7	0	0	1.8
		減価償却費対売上高比率	%	15以下	12.7	10.5	10.5	11.6	12.6	12.7	11.1
		自己資本比率	%	50以上	91.1	▲ 25.1	74.0	▲ 25.1	91.1	70.5	11.6
		流動比率	%	200以上	525.5	47.6	173.2	47.6	525.5	457.2	62.6
性	経産牛1頭当り固定資産額	千円		635	364	529	364	501	635	487	
	経産牛1頭当り負債額	千円		835	84	312	835	84	293	801	

肉用牛繁殖経営 1

区 分			指標値	最大値	最小値	経営体番号					
						1	2	3	4		
診 断 期 間						R2.1.1 ~12.31	R2.1.1 ~12.31	R2.1.1 ~12.31	R1.8.1 ~R2.7.31		
技 術	規 模	繁殖牛飼養規模	頭		34.7	15.0	34.7	32.9	26.0	15.0	
		繁殖牛1頭当り飼料畑面積	a		92.4	46.8	46.8	49.4	92.4	53.3	
	繁 殖	平均産歴(供用産歴)	産	7.0以上	6.1	3.2	6.1	4.7	3.2	3.4	
		平均分娩間隔	ヵ月	12.0以下	13.9	11.5	11.5	13.9	12.4	12.7	
		受胎に要する種付回数	回	1.5以下	1.9	1.4	1.7	1.9	1.4	1.6	
	ET含年間子牛生産頭数	頭		32	11	32	28	18	11		
管 理 成 績	子 牛	ET含年間子牛販売頭数	頭		18	10	18	15	10	10	
		雌 子 牛	販売時日齢	日		274	252	274	252	260	-
			販売時体重	kg	260以上	276	227	268	227	276	-
	雄 子 牛	日齢	kg		1.07	0.90	0.97	0.90	1.07	-	
		雌 子 牛	販売時日齢	日		268	244	268	254	244	262
			販売時体重	kg	295以上	313	283	313	283	291	288
	日齢	kg		1.20	1.10	1.17	1.12	1.20	1.10		
	子牛事故率	%	3.0以下	11.8	3.7	6.1	3.7	11.8	5.9		
販 売	平	雌子牛販売価格	円		589,600	527,633	575,300	527,633	589,600	-	
		雄子牛販売価格	円		813,725	692,083	752,767	692,083	813,725	713,350	
		平均	円		723,189	659,193	723,189	659,193	679,250	713,350	



肉用牛繁殖経営2

		区 分				指標値	最大値	最小値	経営体番号			
									1	2	3	4
技 術 管 理 成 績	飼 料 給 与	繁殖牛1頭当り	1日当り濃厚飼料	kg		2.0	0.5	1.1	2.0	0.5	1.0	
			1日当り粗飼料	kg		8.8	4.2	7.7	4.2	8.8	7.1	
			1日当り粗飼料計	kg		9.3	6.2	8.8	6.2	9.3	8.1	
	飼 料 給 与	子牛1頭当り	1日当り濃厚飼料	kg		3.4	2.0	3.4	2.5	2.1	2.0	
			1日当り粗飼料	kg		1.1	0.8	1.0	0.8	1.1	1.1	
			1日当り粗飼料計	kg		4.4	3.1	4.4	3.3	3.2	3.1	
			1日当り飼料費	円		413	227	364	298	413	227	
		1年間	円		112,997	62,107	99,590	81,533	112,997	62,107		
		粗飼料自給率	%		99.7	74.1	81.1	91.6	74.1	99.7		
経 営 管 理 成 績	原 価	自家労賃控除後		生産原価	円	698,674	270,587	270,587	375,792	-	698,674	
				総原価	円	481,595	288,904	288,904	326,835	-	481,595	
	所 得	繁殖牛1頭当り所得		円		154,503	112,595	112,595	140,625	-	154,503	
				所得率	%	30.0以上	37.7	24.5	24.5	37.7	-	32.5
	安 全 性	支払利息対売上高比率		%	4.0以下	0	0	0	0	-	0	
		減価償却費対売上高比率		%	15.0以下	41.0	13.8	13.8	18.0	-	41.0	
		自己資本比率		%	50.0以上	99.4	85.5	85.5	92.6	-	99.4	
流動比率		%	100.0以上	5,573.9	1,181.7	1,181.7	1,543.6	-	5,573.9			
繁殖牛1頭当り資産額		千円		1,307	756	1,045	756	-	1,307			
繁殖牛1頭当り負債額		千円		151	8	151	56	-	8			

肉用牛肥育経営 1

区 分			指標値	最大値	最小値	経営体番号						
						1	2	4	3	5		
診 断 期 間						R2.1.1 ~12.31	R2.1.1 ~12.31	R1.8.1 ~R2.7.31	R2.1.1 ~12.31	R1.11.1 ~R2.10.31		
技 術 管 理 成 績	規 模	肥 育 牛 飼 養 規 模 頭	頭		118.0	28.7	118.0	90.9	85.2	72.5	28.7	
		肥 育 牛 1 頭 当 り 勞 働 時 間	時間		105.3	18.9	18.9	83.7	66.2	40.8	105.3	
	育 技 術 成 績	去 勢 牛 ( か っ こ 内 は 雌 の 成 績 )	期 間 販 売 頭 数	頭		54	23	54	51	46	35	23
			出 荷 頭 数	頭		54	18	54	45(6)	46	35	18(5)
			出 荷 月 齢	ヵ月	28.0以内	30.7(30.0)	28.5(29.8)	28.5	30.0(29.8)	29.6	30.7	30.2(30.0)
			肥 育 日 数	日	570以内	737(647)	649(631)	737	671(631)	667	649	649(647)
			出 荷 体 重	kg	780以上	871(717)	789(664)	843	789(664)	871	826	838(717)
			枝 肉 重 量	kg	490以上	549(454)	499(421)	531	499(421)	549	523	530(454)
			1 日 当 り 増 体 重	kg	0.85以上	0.94(0.72)	0.77(0.62)	0.93	0.77(0.62)	0.94	0.80	0.85(0.72)
	理 成	事	枝 肉 格 付 4 等 級 以 上 率	%	80.0以上	95.3(100)	90.7(100)	90.7	93.3(100)	95.3	91.4	94.4(100)
			故 率	%	2.0以下	6.5	0	0	0	6.5	5.3	0
	成	販 売	販 売 牛 1 頭 当 り 価 格	円		1,408,765	1,261,306	1,261,306	1,297,986	1,408,765	1,262,626	1,401,274
			枝 肉 1 kg 当 り 価 格	円		2,727	2,374	2,374	2,649	2,568	2,413	2,727
	績	飼 料 給 与	肥 育 牛 1 頭 1 日 当 り 給 与 量	濃 厚 飼 料	kg	7.7	8.6	6.7	7.3	6.7	8.6	8.0
粗 飼 料				kg	2.3	3.7	1.8	2.2	3.7	1.8	2.4	3.6
計				kg	10.0	11.3	9.5	9.5	10.4	10.4	10.4	11.3
飼 料 要 求 量				kg	11.8	13.8	10.2	10.2	13.6	11.1	13.0	13.8
与	飼 料 費	1 日 当 り	円		601	410	444	410	575	601	594	
		増 体 1 kg 当 り	円		751	478	478	539	612	751	724	

肉用牛肥育経営2

区 分			指標値	最大値	最小値	経営体番号					
						1	2	3	4	5	
経 営 管 理 成 績 性	原 価	販売牛1頭当り素畜費	円	774,003	631,729	631,729	-	661,046	774,003	717,456	
		販売牛1頭当り 自家労賃控除後	生産原価	円	1,285,409	1,111,081	1,111,081	-	1,251,220	1,285,409	1,184,483
			総原価	円	1,284,647	1,083,623	1,083,623	-	1,284,647	1,175,180	1,218,702
	所得	販売牛枝肉1kg当り素畜費	円	1,479	1,189	1,189	-	1,205	1,479	1,405	
		販売牛1kg当り 自家労賃控除後	生産原価	円	2,527	2,091	2,091	-	2,330	2,527	2,319
			総原価	円	2,393	2,039	2,039	-	2,393	2,310	2,386
所得	出荷牛1頭当り所得	円		243,816	52,373	243,816	-	110,684	52,373	152,330	
所得	肥育牛1頭当り所得	円		127,384	26,006	111,577	-	61,058	26,006	127,384	
所得	肥育牛1頭当り 補てん金受領額	円		54,993	7,640	54,993	-	7,640	21,375	30,718	
所得	肥育牛1頭当り 補てん金控除所得	円		96,666	4,631	56,584	-	53,418	4,631	96,666	
所得	所得率	%	6.0以上	19.1	4.3	19.1	-	7.9	4.3	11.1	
安 全 性	安	支払利息対売上高比率	%	2.0以下	0.6	0	0.5	-	0.1	0.6	0
		減価償却費対売上高比率	%	5.0以下	4.4	0.3	1.2	-	4.4	0.3	3.8
	全 性	自己資本比率	%	50.0以上	98.9	44.7	62.7	-	65.2	44.7	98.9
		流動比率	%	200.0以上	7,388.7	312.4	1,600.3	-	6,853.8	312.4	7,388.7
		肥育牛1頭当り資産額	千円		1,887	958	958	-	1,129	1,036	1,887
		肥育牛1頭当り負債額	千円		573	357	357	-	393	573	393

養豚経営 1

区 分			指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号							
						1	2	3	4	5	6		
診 断 期 間						R2.1.1 ~12.31	R1.11.1 ~R2.10.31	R2.1.1 ~12.31	R1.8.1 ~R2.7.31	R1.11.1 ~R2.10.31	R2.1.1 ~12.31		
技術 管理 成績	規模	種 雌 豚	頭		161.9	43.6	161.9	106.0	102.1	96.7	73.8	43.6	
		種 雄 豚	頭		9.1	2.9	4.7	9.1	6.9	4.3	5.8	2.9	
	繁殖 部門	種 雄 豚 1 頭 当 り 種 雌 豚 頭 数	頭		34.4	11.6	34.4	11.6	14.8	22.5	12.7	15.0	
		種 雌 豚 更 新 率	%		70.3	33.9	54.4	42.5	47.0	70.3	33.9	41.3	
		種 雌 豚 平 均 産 歴	産		4.4	3.5	3.5	4.4	3.7	3.9	4.0	4.2	
		分娩	1 腹 当 り 分 娩 頭 数	頭	12.0以上	14.1	11.9	12.5	14.1	13.0	11.9	13.5	13.6
			" 死 産 頭 数	頭		1.9	0.8	1.0	1.6	0.8	0.9	1.9	0.8
			" 哺 乳 開 始 頭 数	頭		12.8	11.0	11.5	12.5	12.2	11.0	11.6	12.8
			流 産 ・ 早 産 等 発 生 率	%		4.72	0	0.53	1.67	0.41	4.72	0.57	0
		離乳	1 腹 当 り 離 乳 頭 数	頭	9.9以上	11.9	9.5	10.4	10.5	9.7	9.5	10.3	11.9
			平 均 哺 乳 日 数	日	24	27.8	22.3	22.5	23.3	24.4	25.3	22.3	27.8
			子 豚 1 頭 当 り 離 乳 時 体 重	kg	6以上	7.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0
			離 乳 時 育 成 率	%	90以上	93.0	79.5	90.4	84.0	79.5	86.4	88.8	93.0
		分娩 間隔	離 乳 ~ 受 胎 平 均 日 数	日	12以内	18.9	14.2	16.6	18.9	14.2	17.9	18.0	14.6
			分 娩 間 隔	日	150以内	157.2	152.6	153.1	156.2	152.6	157.2	154.3	156.4
	年 間 回 転		回	2.43以上	2.40	2.33	2.39	2.34	2.40	2.33	2.37	2.34	
	年 間 換 算 離 乳 子 豚 頭 数		頭	24以上	27.8	22.1	24.9	24.6	23.3	22.1	24.4	27.8	
	飼料	種 雌 豚 1 頭 当 り 年 間 換 算 給 与 量	kg	1,000	1,308	967	1,128	1,088	1,308	967	1,121	1,207	
	労働	種 雌 豚 1 日 1 頭 当 り 勞 働 時 間	分	4.5	9.9	5.5	5.7	6.6	9.9	5.5	6.9	6.8	
		肥 育 豚 1 日 1 頭 当 り 勞 働 時 間	分	0.5	0.9	0.4	0.4	0.5	0.7	0.9	0.6	0.5	
出 荷 豚 1 頭 当 り 勞 働 時 間		時		5.5	2.5	2.5	2.9	5.5	4.2	3.7	2.8		

養豚経営 2

区 分		指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号							
					1	2	3	4	5	6		
技術 管理 成績	肥育部門	肉豚飼養規模頭		1,557.7	480.4	1,557.7	1,007.2	935.6	844.2	795.9	480.4	
		種雌豚1頭当り肉豚出荷頭数頭	22.8以上	27.2	18.1	23.3	23.5	18.1	20.0	21.5	27.2	
		増体	肥育開始時体重kg	6以上	7.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	7.0
			出荷時体重kg	115	122.3	109.5	122.3	117.1	113.4	109.5	116.0	115.0
			増体量kg	109	116.3	103.5	116.3	111.1	107.4	103.5	111.0	108.0
			肥育期間日	161	174.3	146.6	174.3	146.6	160.7	164.6	169.3	150.7
			1日当り増体量g	670以上	758	629	667	758	668	629	650	717
		事故期間平均事故率%	5以下	11.0	1.3	7.1	5.7	11.0	6.9	9.1	1.3	
		密度肥育豚1頭当り飼育面積m <sup>2</sup>		0.836	0.571	0.571	0.686	0.674	0.836	0.745	0.585	
		出荷	枝肉重量kg	75	81.1	69.0	81.1	76.4	73.8	69.0	75.1	75.2
枝肉1kg当り販売単価円			549	500	542	549	534	500	546	534		
総出荷枝肉1kg当格落ち金額円	14以下		41.28	6.50	14.40	6.50	20.54	41.28	16.59	21.44		
	上物率%	60以上	62.3	29.2	56.1	62.3	51.6	29.2	54.0	47.7		
飼料飼料要求率-		2.78	3.02	2.64	2.64	2.78	2.87	3.02	2.97	3.01		
経理 管理 成績	原価	離乳時子豚1頭当り生産原価円		8,991	6,095	6,685	7,203	8,050	6,095	8,991	7,406	
		" 総原価円		9,518	6,444	6,777	7,765	8,169	6,444	9,518	7,151	
		生産原価	出荷1頭当り円		34,756	27,836	27,836	28,656	32,613	29,606	34,756	33,133
			出荷枝肉1kg当り円		468	375	468	375	442	429	463	441
		総原価	出荷1頭当り円		41,373	30,734	30,734	35,717	37,570	36,084	41,373	37,499
			出荷枝肉1kg当り円		551	467	517	467	509	523	551	499
	所得	自家労賃	出荷1頭当り円		36,214	29,387	29,403	31,105	32,398	29,387	36,214	32,962
		控除後総原価	出荷枝肉1kg当り円		494	407	494	407	439	426	482	438
		種雌豚1頭当り所得円		261,595	106,274	106,274	261,595	132,898	106,560	112,255	196,488	
		肉豚出荷1頭当り所得円		11,132	4,564	4,564	11,132	7,346	5,325	5,217	7,229	
		肉豚出荷枝肉1kg当り所得円		146	69	77	146	100	77	69	96	
	期間1日当り所得円		75,970	22,697	47,139	75,970	37,175	28,231	22,697	23,471		
		所得率%	10以上	26.4	12.6	13.4	26.4	18.5	15.3	12.6	18.0	
	安全性	支払利息対売上高比率%	2以下	1.9	0	0.3	0	0	1.9	0.5	0	
減価償却費対売上高比率%		10以下	7.9	2.2	4.9	4.5	6.1	4.0	7.9	2.2		
肉豚出荷1頭当り支払利息円			642	0	106	0	8	642	218	9		
" 減価償却費円			3,263	900	1,680	1,880	2,431	1,384	3,263	900		
自己資本比率(期末時)%		50以上	96.1	▲ 124.6	7.3	90.6	46.5	▲ 124.6	11.0	96.1		
流動比率(期末時)%		200以上	2,160	83	520	719	671	83	632	2,160		
種雌豚1頭当り固定負債額千円			513	0	358	0	98	506	513	0		
種雌豚1頭当り負債額千円		745	21	400	34	137	745	555	21			

## 令和2年度 畜産コンサルタント指導員

### 1 指導員の構成

常 勤	非 常 勤	合 計
4名	14名	18名

### 2 指導員名簿

#### (1) 常 勤

担 当 部 門	氏 名	所 属	資 格
総 括	中 林 大	公益社団法人新潟県畜産協会	獣医師・農学博士 農場 HACCP 主任審査員 JGAP 審査員
	谷 川 昌 行	公益社団法人新潟県畜産協会	総括畜産コンサルタント 畜産環境アドバイザー 日商簿記3級
肉 用 牛	佐 藤 紫 織	公益社団法人新潟県畜産協会	(公社) 全国和牛登録協会地方審査委員 日商簿記3級
酪 農	真 保 春 紀	公益社団法人新潟県畜産協会	農場 HACCP 指導員 日商簿記2級

#### (2) 非常勤

担 当 部 門	氏 名	所 属
経 営	/	新潟県農林水産部経営普及課
飼 養 管 理 ( 全 般 )	/	新潟県農林水産部経営普及課

担当部門	氏名	所属
飼養管理 (酪農)	奥木邦昭	JA東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所営業課
		新潟県農業総合研究所畜産研究センター酪農肉牛科
		新潟県妙法育成牧場
飼養管理 (肉用牛)	奥木邦昭	JA東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所営業課
	佐久間千晶	全国農業協同組合連合会新潟県本部畜産部畜産課
		新潟県農業総合研究所畜産研究センター酪農肉牛科
飼養管理 (酪農・肉用牛 共通)	裾分久仁子	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	星野麻衣子	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	田村雄飛	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	関根秀男	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	相田謙一	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	佐藤昭仁	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
飼養管理 (養豚)	斉藤健太	JA東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所営業課
		新潟県農業総合研究所畜産研究センター生産・環境科
飼料作物		新潟県農業総合研究所畜産研究センター生産・環境科
会計・経理	辻元幸男	株式会社日本政策金融公庫新潟支店農林水産事業融資課
	徳橋貴幸	新潟県農業協同組合中央会農業地域対策部農政営農課
	藤野祥誉	新潟県信用農業協同組合連合会リスク統括部
	坪木隼	新潟県信用農業協同組合連合会融資部
	佐藤敬昌	新潟県信用農業協同組合連合会農業部

## 新潟県畜産経営診断指導事業

### 事業主体

新潟県農林水産部畜産課

TEL 025-285-5511 (内線 2966) FAX 025-280-5010

URL <http://www.pref.niigata.lg.jp/chikusan/1196698566592.html>

### 事業受託者

公益社団法人新潟県畜産協会

TEL 025-234-6782 FAX 025-234-7045

URL <http://niigata-chikusan.jp/>